



愛隣幼稚園.....

園だより

.....19. 10月

おやじたちの挑戦

先週の土曜日もおやじたちの有志による“井戸掘り”は続いていました。題して〈井戸掘りプロジェクト〉これが始まったのは、7月のおやじの会恒例「夏のメンテナンス」からでした。それから毎週末、真夏の酷暑の中も、汗だくで作業をしてくださっています。具体的な労力を提供できない（したところでたかが知れています）私は、申し訳ない気持ちとありがたい気持ちでいっぱいです。愛隣幼稚園のために、子どもたちのためにと現役・OB 含めたくさんのお父さんたちが力を貸してくださっている〈井戸掘りプロジェクト〉です。おやじたちの“あいりん愛”を感じます。

昔々、私の子どもたちが愛隣に入園した頃、幼稚園は第2、第4土曜日がお休みでした。そう、まだ土曜日に保育があったのです。それでその頃は、土曜日になると送迎はお父さんというご家庭も多くありました。2002年、学校が完全週5日制になると愛隣幼稚園も週5日制になり、土日はお休みということになりました。お父さんたちが、子どもと一緒に幼稚園に足を運ぶ機会が少なくなりました。それで、年に2回「家庭参加日」を設けて、主にお父さんたちに幼稚園に来てもらい、子どもたちと過ごしてもらおうということになりました。それから間もなく、当時園長であった木下理事長を囲んで、おやじたちの会合が幼稚園で開かれました。おやじたちが子どものことを語り合い、男手のない幼稚園を助け、楽しく飲み会もできたらいい、と『おやじの会』が熱く、ゆる〜くスタートしました。〈井戸掘り〉の話はこの頃から、湧いては消え、消えては湧き、ずーっと続いてきた話です。それが今年、満を持して着工という運びとなりました。どこまでできるかわからないけれど、とにかく“おやじ”の力でということになった根拠は・・・①幼稚園の近所には井戸がある。②前回園舎建築の際の地質調査でも可能性はありそう。③メンバーの中に自宅に自力で井戸を掘った人がいる。④幼稚園は夏休みにも預かりをやる。大きなプールも買った。井戸水はあるといい。⑤幼稚園にお金はなさそうだ。男手もない。⑥おやじの会でずっとやりたと思ってきたことだ。という科学的な(?) 根拠に裏付けされておやじたちは〈井戸掘りプロジェクト〉に着手した、という訳です。井戸を掘る方法は「なあるほど！」と感心するほどアナログで原始的な方法でした。人の力と知恵、工夫で地面にこんな穴を掘っていくことができる！それは大きな驚きでした。しかも2メートルや3メートルではありません5メートル、10メートルと掘り進んでいくのです。毎週、毎週、地道な作業は進められました。着工から1ヶ月。12メートルの穴の底に、

ついに地下水を確認しました。遂に、遂にです。報告を聞いてドキドキしました。興奮しました。本当にお父さんたちの力だけで、井戸を掘ることができるとは。そうか、やはり人類の歴史に刻まれている数々の発見や発明、偉大な進歩はこんな無謀とも思える挑戦から始まったんだ！私はそんなことを確信しました。大袈裟ですか？そうかもしれませんが、私は大真面目です。不確実なものにチャレンジする、無駄になるかもしれないのに、毎週毎週、出来る人が出来る時に集まり、力と知恵を集めて、何の報酬もないのに黙々と、時に思うようにいかず疲労が増えることも、それでも「諦める」などという言葉は一度も聞かれず、竣工の日を目指して汗するお父さんたちです。そう、でもお父さんたち誰もが同じようにはできない。それぞれ得意なこと、出来ることは違います。事情も違います。でも、こんな風に大人が頑張っている姿、夢中になっている姿は是非、子どもたちに見てほしい。特にお父さんのそんな姿はなかなか見る機会がありませんから。難しいかもしれませんが、“生き方”を見せるなんていうことも、父や母がする子育ての大事な一部です。

「ここまできたら意地だよなあ〜。」おやじたちが汗と泥にまみれた顔で笑いあっています。「完成したら美味しいビールを飲もう！」そう言いながら今は更に困難な作業を続けてくださっています。必ず保護者同伴でお願いしたいのですが、〈井戸掘り〉見学もありかと思っています。